

# 衆議院外務委員会ニュース

平成 21.6.5 第 171 回国会第 13 号

6 月 5 日（金）第 13 回の委員会が開かれました。

## 1 国際情勢に関する件

- ・中曽根外務大臣、伊藤外務副大臣、岡田国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 猪口邦子君（自民）

- ・本年 7 月に予定される日露首脳会談では、メドヴェージェフ露大統領側から独創的で型にはまらないアプローチに関する具体的な考えが提示されるのか。
- ・首脳会談に向けた外務省内での準備状況及び会談において領土交渉での進展を図るために、外務省はロシアに対してどのような働きかけを行っているか。
- ・クラスター弾の規制については、国内法（「クラスター弾等の製造の禁止及び所持の規制等に関する法律案」）の整備が重要だが、その進捗状況はどうなっているか。

### 川内博史君（民主）

- ・鹿児島県小島島では、日米合同委員会合意に反し、米軍機の低空飛行訓練が行われている居住区域上空の訓練は容認できないため、合意自体を見直すべきではないか。
- ・平成 18 年度及び 19 年度の米国への年次改革要望書に記載していた牛海綿状脳症（BSE）対策に関する要望が、平成 20 年度では石破農林水産大臣の決裁が欠落していたのはなぜか。
- ・世界の商品先物市場の透明性向上に向け、我が国も自国内の実施状況に照らしながら、米国や欧州に対して必要と思われる要望を主張していくべきではないか。

### 篠原孝君（民主）

- ・我が国は領海法制定時に当分の間、津軽海峡等を、領海幅を国際法上の 12 海里ではなく 3 海里とする「特定海域」に指定しているが、他国でも領海幅制定が存在するのか。
- ・特定海域指定の理由は、米国の核搭載船の通過に対する軍事的配慮からだとと思われるが、非核 3 原則に基づき、今後特定海域の指定を変更する考えはないのか。
- ・1960 年の日米安保条約改定に際し、米国艦船等による我が国への「核の持ち込み」を黙認したとされる密約の存在についての報道に関し、中曽根外務大臣は省幹

部からどのような説明を受けているか。

### 松原仁君（民主）

- ・「日本がロシアのクリル諸島への主権に対して疑いを差し挟む試みを指摘せざるを得ない」とのメドヴェージェフ露大統領発言等、北方領土返還交渉に影響を及ぼすようなロシア側の発言に対し我が国の立場を明確に主張し適切に反論する必要があるのではないか。
- ・北朝鮮の金正日総書記の後継者に金正雲氏が内定したとの情報があるが我が国政府はどのように認識しているのか。
- ・北朝鮮による短距離ミサイルの発射（2009.5.25）に関する国民の安全情報について公開の基準はどのように定めているのか。

### 笠井亮君（共産）

- ・温室効果ガス削減の中期目標についての中曽根外務大臣の考えを及び政府は中期目標をいつごろまでに決定する方針なのか。
- ・中期目標検討委員会の検討案の一つである中期目標として、日本経団連が 1990 年比 4 % 増を案としたが、外務大臣の所見はいかがか。
- ・国際交渉の場でリーダーシップを発揮できるような野心的な中期目標を策定するよう関係閣僚会議において主張し中期目標を採択する必要があるのではないか。

### 保坂展人君（社民）

- ・衆議院外務委員会理事会に外務省が提出した「平成 5 年度一般会計予備費使用要求額（国際連合ソマリア活動分担金の内訳）」に関する文書の保存部署はどこか。
- ・「ソマリア信託基金の使途内訳（我が国分）」（2009 年 5.20 外務省）にある統一タスクフォース（UNITAF）支援額の算出根拠は何か。
- ・政府はプーチン露首相訪日時（2009.5.12）に署名された日露原子力協定文を国会への提出まで公開しない理由は何か。

- 2 刑事に関する共助に関する日本国と中華人民共和国香港特別行政区との間の協定の締結について承認を求めるの件(第170回国会条約第1号)
- 領事関係に関する日本国と中華人民共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件(条約第2号)
- 国際通貨基金における投票権及び参加を強化するための国際通貨基金協定の改正及び国際通貨基金の投資権限を拡大するための国際通貨基金協定の改正の受諾について承認を求めるの件(条約第9号)
- 国際復興開発銀行協定の改正の受諾について承認を求めるの件(条約第14号)
- ・中曽根外務大臣からそれぞれ提案理由の説明を聴取しました。